

事業所名

つばさ放課後クラブ

支援プログラム

作成日

2024 年

9 月

19 日

法人（事業所）理念		援助を必要としている方々が、地域の中で豊かに、安心して自立した生活ができるよう支援します。 ①利用者本位のサービス提供 ②地域福祉の担い手としての社会への貢献 ③透明性のある法人運営の遂行						
支援方針		子ども同士、あるいは支援者との関りから、他者との協調性や集団への適応の仕方について身につけられるように支援します。具体的には、集団でのプログラムを通して、ルールを学ぶとともに、他者との交流を促します。プログラムを通して学んだ社会性は、自由遊びの時間に発揮されますので、自由時間の過ごし方も注意深く観察し、子どもの主体性を引き出しながら必要なサポートを行います。 個人の作業に集中する時間も作り、一人ひとりのできる動作を増やし、自己肯定感を高めるとともに、メリハリのある時間の過ごし方を目指しています。						
営業時間		学校登校日 学校休業日	15 時間 10 時	0 分から	18 時 16 時	00 分まで 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	排せつや着替えなどの生活習慣は、必要な支援をするとともに、少しでも自身でできるような方法を探し、工夫を重ねます。手洗い・食器の片づけなどの生活習慣は、ご家庭とともに取り組むことで定着しやすくします。また、年齢とともにテーブルふき・ごみ捨て・消毒などの「お手伝い」を増やし、社会に出る準備をします。 そこが何のための空間が明確にするなど（構造化）、視覚的情報を整理し、混乱しない環境づくりを目指します。						
	運動・感覚	ダンス・ストレッチ・マット運動・ボール・風船バレー・縄跳び・サーキット運動・だるまさんがころんだ・輪投げ・コロコロドッチボール・ポッチャ・ポーリングなどを通して、楽しく体を動かす習慣を身につけ、運動やバランス、姿勢保持の能力向上を促進します。 また、これらの運動のほか、個別の作業（ビーズ通し、洗濯物干し練習など）を通して、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚統合を促進します。						
	認知・行動	カレンダー制作・季節の制作・おりがみ・ビーズ・粘土・絵具・コラージュ・リース作りなどを通して、楽しみながら、形・色・手触り・重さなどの認知を促進します。さらにはそれらを使って作品を作ることで、世界に一つの表現を作り上げます。作品は展示、あるいは自宅に持ち帰ることで、振り返ったりご家族と楽しんだりすることを通して、次の行動につなげていきます。						
	言語 コミュニケーション	子ども同士・支援者からの声掛け・絵本・紙芝居・映像タイムなどを通して、言語スキルやコミュニケーション能力を刺激します。 言葉・文字・カード・サイン・身振りなど様々なコミュニケーション方法を試す中で、少しでも意思の表出ができるようにサポートします。特に意思の表出ができるようになるためには、統一した段階的取り組みを、時間をかけて丁寧に行います。						
	人間関係 社会性	室内外での自由遊びでは、支援者が注意深く観察しながら、ほかの子どもと仲良くかわかれるよう、声掛けの仕方、おもちゃの貸し借りなどをサポートします。特に公園遊びでは、公園に来ていた地域のお子さんとの交流が図れるよう、支援者がリードして遊び機会を作ることがあります。 季節の作品を毎月届けるなど、地域の関係機関との交流を通して、子どもたちの世界を広げます。また、挨拶やルールを知る機会としています。						
家族支援		保護者会（年1回）・学校関係機関との連携			移行支援		・保育園、児童発達支援事業所からの情報提供や見学。 ・移行先の事業所や相談支援事業所への必要な情報提供。 ・地域での活動との情報交換	
地域支援・地域連携		関係機関への作品の贈呈・学校卒業を見すえた成人通所施設利用者との交流			職員の質の向上		・専門技術研修は計画に基づいて1人につき年1回以上は受講。 ・法人内で虐待防止、接遇マナー、防災、ハラスメント研修の他、階層別研修を実施。	
主な行事等		・季節の行事（節分、お別れ会、歓迎会、水遊び、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー） ・近隣公園へ散歩、地域の祭りへの参加（外出活動） ・火災想定避難訓練・地震想定避難訓練・水害想定避難訓練・防犯訓練						